

## 2020 冬休みのお薦め本

太宰治「走れメロス」、夏目漱石「こころ」、中島敦「山月記」。中学・高校の教科書で読んだ（読まされた？）であろう定番の作品を、新たな視点で読み直す2冊。「国語」の「授業」を少し離れて、文学の可能性に触れるのにオススメの入門書です。



### 『文豪たちの怪しい宴』 鯨 統一郎（創元推理文庫）

読書に興味を持ってきたバーの女性バーテンダー相手に文学作品を語る大学教授。その会話に参加してきた、一人の男性客。彼は、「こころ」は百合小説であり、「メロス」はセリヌンティウスの夢だと言い放つ。一見荒唐無稽だが細部に注目する読み解きは、専門家である教授を沈黙させていく。小説には自由で多様な読解の可能性があるのだということを実感し、対象となった作品を再読したくなる一冊。（他には、宮澤賢治「銀河鉄道の夜」と芥川龍之介「藪の中」が取り上げられている。）

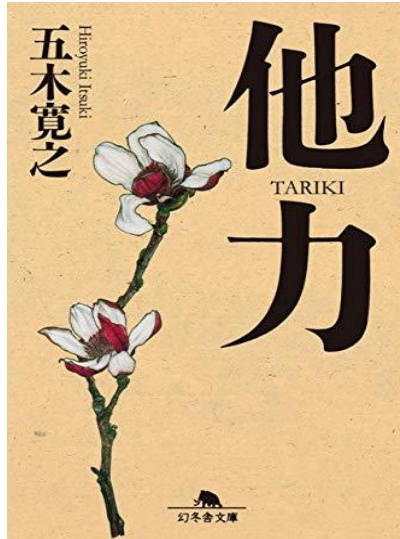
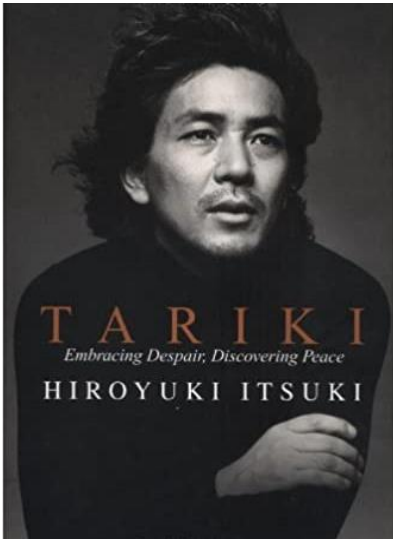
### 『虎と月』 柳 広司（文春文庫、他）

中島敦の小説「山月記」末尾で、人間の社会から姿を消した、虎に変身してしまった男・李徴。そこで終わったはずの物語が、「君のお父さんは死んだ」と聞いて父の遺体を求める彼の息子が登場することで、新たに生まれ変わる。「山月記」およびその原作「人虎伝」の末尾を受け継ぎながら、深い解釈をふまえて想像＝創造されていく、「山月記」の後日談。文字で書かれた作品から映像化作品まで、二次的な創作とはつまりは読解なのだ、ということが実感できるはず。

## “Tariki (他力)” written by Hiroyuki Itsuki (Kodansha America Inc.)

Hiroyuki Itsuki, one of the most famous Japanese novelists, introduces us to the Other Power (他力) that is the common belief of Pure Land Buddhism (浄土教). Its Power comes from the full acceptance of the reality in front of us. It is never a philosophy of passivity and irresponsibility but one of active spiritual activities. Its essence is the spontaneous force giving us the will to act.

This enlightenment does not appear easily. But, in this world, we sometimes encounter simple joys, friendship, and the kind acts of strangers. We can also experience moments when we are filled with courage, hopes and dreams. These moments are Paradise. Mr. Itsuki quietly insists that, in the endless uncertainties of modern life, *Tariki* gives us an energy to feel joy as well as the respite of peace.



(心の安寧度 100 点)

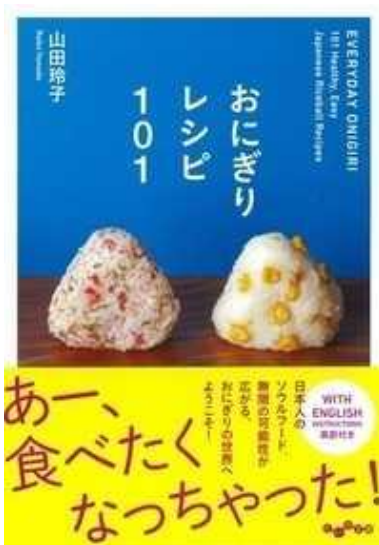
### 『おにぎりレシピ 101』 山田玲子 (ポット出版)

ごはんの炊き方握り方、定番から意外な具材まで掲載。

気楽に眺められ、気軽に作れるので家族に振る舞って楽しんでほしい。

英訳付きなので外国へプレゼントにも。

「炊き込む」など馴染みの日本語がどう英訳されているのかも興味深いです。



## 『水木しげるの古代出雲』（角川文庫）

水木しげる版、出雲神話の漫画。

名前が覚えづらくとつきにくい日本神話も水木しげるの画風でわかりやすい。

後半は作者故郷の出雲へフィールドワーク。お供は京極夏彦氏です。

最後は「**京都が舞台の小説**」を紹介します。

大正・昭和における日本文学京都三大小説は、『檸檬』（梶井基次郎）『金閣寺』（三島由紀夫）『古都』（川端康成）ですが（今、勝手に決めました）、昭和の終わりから平成にかけて貴志祐介、綾辻行人、いしいしんじ、平野啓一郎、万城目学、森見登美彦、瀧羽麻子など京大出身の小説家も多く輩出し、以下の表にあるように図書館でも古典や純文学のほか、ミステリーやホラー、エンタメ系など色々な作風の本を所蔵しています。

本の世界で京都をより広く、深く知ろう！実際に京都へ行って見た時の感動が増すこと請け合いです！

（図書館にある本 左→文庫本、右→単行本）

著者名	題名	著者名	題名
芥川龍之介	羅生門・鼻	浅田次郎	壬生義士伝
浅田次郎	活動写真の女	安部龍太郎	等伯
姉小路祐	京都七不思議の真実	伊藤遊	鬼の橋
綾辻行人	深泥丘奇談	荻原規子	風神秘抄
池波正太郎	真田太平記	大岡昇平	お伽草子
井上靖	後白河院	清水義範	おとぎぞうし
梶井基次郎	檸檬・冬の日	塩田武士	罪の声
川端康成	古都	島田荘司	占星術殺人事件
夏目漱石	虞美人草	高田崇史	鬼神伝 鬼の巻
万城目学	鴨川ホルモー	高田崇史	鬼神伝 神の巻
松本清張	Dの複合	瀧羽麻子	左京区恋月橋渡ル
三島由紀夫	金閣寺	瀧羽麻子	左京区七夕通東入ル
三島由紀夫	絹と明察	古川日出男	平家物語 犬王の巻
森見登美彦	四畳半王国見聞録	村上春樹	ノルウェイの森
森見登美彦	有頂天家族	吉川英治	新書太閤記
森見登美彦	聖なる怠け者の冒険	吉川英治	新・平家物語
森鷗外	山椒大夫	吉川英治	宮本武蔵
ビギナーズクラシック	源氏物語		
ビギナーズクラシック	今昔物語		
ビギナーズクラシック	平家物語		
ビギナーズクラシック	うつほ物語		
ビギナーズクラシック	とりかへばや物語		
ビギナーズクラシック	太平記		
河出文庫	現代語訳 義経記		

